



生ワクチン「ビケン」は1回の接種ですが、現在は組換えワクチン「シングリックス」が推

れています。

種回数や接種方法、接種スケジュールなどが異なっています。どちらのワクチンも帯状疱疹や合併症の予防効果が認められています。

予防する有効な手段が帯状疱疹ワクチンです。帯状疱疹ワクチンには、生ワクチン「ビケン」と組換えワクチン「シングリックス」の2種類があります。接種回数や接種方法、接種スケジュールなどが異なっています。どちらのワクチンも帯状疱疹や合併症の予防効果が認められています。

あります。

帯状疱疹は、水ぼうそうの原因となる水痘・帯状疱疹ウイルスが、体内の神経節に潜伏していたものが再び活性化することで発症します。加齢や疲労、ストレスなどで免疫が低下すると発生しやすく、70歳以上で発症することが多いといわれています。皮膚に帯状の発疹と強い痛みが現れることが特徴で、発疹が治った後も痛みが長く残る帯状疱疹後神経痛を起こすことがあります。

予防する有効な手段が帯状疱疹ワクチンです。帯状疱疹ワクチンには、生ワクチン「ビケン」と組換えワクチン「シングリックス」の2種類があります。接種回数や接種方法、接種スケジュールなどが異なっています。どちらのワクチンも帯状疱疹や合併症の予防効果が認められています。

帯状疱疹は、水ぼうそうの原因となる水痘・帯状疱疹ウイルスが、体内の神経節に潜伏していたものが再び活性化することで発症します。加齢や疲労、ストレスなどで免疫が低下すると発生しやすく、70歳以上で発症することが多いといわれています。皮膚に帯状の発疹と強い痛みが現れることが特徴で、発疹が治った後も痛みが長く残る帯状疱疹後神経痛を起こすことがあります。

帯状疱疹は、水ぼうそうの原因となる水痘・帯状疱疹ウイルスが、体内の神経節に潜伏していたものが再び活性化することで発症します。加齢や疲労、ストレスなどで免疫が低下すると発生しやすく、70歳以上で発症することが多いといわれています。皮膚に帯状の発疹と強い痛みが現れることが特徴で、発疹が治った後も痛みが長く残る帯状疱疹後神経痛を起こすことがあります。

帯状疱疹は、水ぼうそうの原因となる水痘・帯状疱疹ウイルスが、体内の神経節に潜伏していたものが再び活性化することで発症します。加齢や疲労、ストレスなどで免疫が低下すると発生しやすく、70歳以上で発症することが多いといわれています。皮膚に帯状の発疹と強い痛みが現れることが特徴で、発疹が治った後も痛みが長く残る帯状疱疹後神経痛を起こすことがあります。

健康 ひとくち MEMO



銚子市医師会
須藤 直美

帯状疱疹をワクチンで
予防しよう

問 健康づくり課 ☎ (24) 8070

